

鹿島高校だより

佐賀県立鹿島高等学校
(普通科・商業科・食品調理科)

題字:書道科担当
吉田 恭子

第1号
(2025.4)

学校長挨拶

校長 北村 昭彦



本年度4月から校長を務めます北村昭彦です。どうぞよろしくお願ひいたします。
本校は、旧鹿島高校と鹿島実業高校が再編統合され、2018年に開校して以来、8年目を迎えます。これまでの長い歴史と伝統をしっかりと受け継ぎながら、新しい時代にふさわしい教育活動を展開し、鹿島市内唯一の高校として、地域の期待に応える学校を目指しています。
さて、高校時代は「子ども」から「大人」へと成長すべき、人生の大きな節目にあたります。社会に貢献できる大人へと成長してほしいという思いを込めて、年度当初、次のスローガンを掲げ、生徒たちに3つの大切なことを伝えました。

学校スローガン: 「大志」「探求」「至誠」を胸に、未来を切り拓く

① 「大志」… 社会に貢献する高い志を持つ。

「夢」を、自分だけの幸せにとどまらず、誰かの幸せやよりよい社会の実現を目指して何かを成し遂げたいという高い「志」へと昇華させてほしい。

② 「探求」… 常に問い続け、答えを探し求める。

「自分は、人のために何ができ、今後どうありたいか」問い続け、自分の進むべき道を見つけてほしい。また、「社会は、今どんな状況にあり、今後どうあるべきか」問い続け、よりよい社会を創造できる人へと成長してほしい。

③ 「至誠」… 誠実に物事に取り組み、真心で人と接する。

何事にも誠実に取り組み、誰に対しても真心をもって接することで、信頼関係を築き、人を動かし、社会を変える力を育んでほしい。

このスローガンのもと、生徒・保護者・地域の皆様に、「行ってよかった学校」・「行かせてよかった学校」・「あってよかった学校」と思ってもらえる、誰からも信頼され、愛される学校づくりを目指します。どうか、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

満開の桜のなかで

4月8日(火)令和7年度入学式を赤門学舎体育館で行いました。173名の新入生が鹿島高校生としての第一歩を踏み出すことができました。

真新しい制服を着た新入生は、期待に胸を膨らませ、緊張した面持ちで式に臨みました。式の中では、部活動代表の生徒と生徒会役員が校歌を歌って紹介しました。また、吹奏楽部が演奏し、新入生を歓迎しました。式の後、各教室で初めてのホームルームが行われました。

